

## 令和3年度事業計画

少子高齢化が急速に進む中、地域担い手支援や新規就農確保等が大きな課題となっており、農業公社の果たす役割はより重要度を増しています。

令和3年度は、農作業受託事業、中核的担い手及び新規就農者育成等に引き続き重点的に取組を進めるため国東市地域農業サポート機構を通じて担い手不在集落の解消を目的に、担い手・集落支援及び新規就農支援として、スマート農業の（省力化機械導入等）実践事例・現地研修会等を通じて担い手不在集落解消を図る。

また、農業公社事業をより身近なものとする情報発信手段として、ホームページ（スマートフォン版も含む）を開設することで、市内全域に活動域を広げ必要な支援を展開し、公益法人としての役割を果たして参ります。

### 1. 農地利用集積円滑化事業

中間管理機構や関係機関と連携して、担い手への農地集積や新たな農地管理契約により耕作放棄地防止に努めます。

### 2. 農作業受託事業

市内農業者の高齢化が進行する中、担い手となる認定農業者・農業法人組織が市内で194人、20組織（令和3年3月現在）となっています。しかし、まだまだ担い手不足地域は存在しており、公社がその担い手として、持続的農業経営の為の重要な作業受託に取り組んでいきます。

### 3. 中核的担い手及び新規就農者の育成事業

#### (1) こねぎトレーニングファーム研修施設運営

8期生については、当初1名の研修生が入校予定でありましたが、家庭の都合により辞退となりました。この状況を踏まえ、研修施設活用方法として、多品種の試験栽培により、時期的・生産量等の最も優良品種情報をトレーニング

ファーム研修卒業生へ情報提供することで、産地課題である生産量向上へつなげて行きます。

#### (2) 地域農業の経営サポート

国東市地域農業経営サポート機構構成員との連携により、集落支援や担い手の経営力強化を図ることを目標に情報交換等に取り組みます。

#### 4. 特産品の生産・販売に関する事業

公社管理地では、こねぎ、麦、水稻の主要品目に加え、稲・タマネギ育苗にも力を入れ、また将来を見据え国東市特産品であるバジル栽培技術取得研修に取り組むなど、市農業振興計画に沿った品目の生産基盤を支え、公益法人として公社ならではの流通ルートにより地域農業の発展及び振興に寄与して参ります。